

# 令和8年度 福生市立学校 学校経営方針

学校名 福生市立福生第七小学校

校長名 菅野 恭子 公印

## 教育目標

CSとして七小地区グランドデザインを学校・地域・家庭が共有し、連携・協働しながら子どもたちが未来を切り拓くために必要な資質・能力を確実に育成するために次の目標を設定する。

- ◎ よく考え すすんで学ぶ子 「学習の基礎基本・課題解決能力」
- 明るく 思いやりのある子 「コミュニケーション能力」
- 体をきたえ がんばり抜く子 「体づくりに向けた実践力・豊かな人間性」

## 1 目指す特色ある学校像

七小地区グランドデザイン 《学校・家庭・地域が共に目指す目標》

【目指す地域像】 ・ふるさとを大切に、支え合える地域

【目指す子どもの姿】 ・素直で大らかな心と地域愛に溢れた心を持ち、様々なことに興味・関心をもって意欲的に活動できる子ども

※ 様々な「ひと」・「もの」・「こと」とかかわり学ぶ、「本物体験」を通して、教育目標で掲げた姿を大切にしながら「目指す地域像」、「目指す子どもの姿」に迫る。

## 2 学校経営の目標

### (1) 中期的目標

- ① 学力向上
  - ・基礎・基本を身に付け、自分の考えをもって課題解決に向かうことができる力を育てる。
- ② 魅力ある学校づくり
  - ・コミュニティ・スクールとして、地域と連携・協働し、地域で活躍する子どもを育てる。（「七小地区グランドデザイン」に迫る児童の育成）
- ③ 心身の健康
  - ・心身の健康に関心を持ち、より良い生活習慣を目指して改善・創造・挑戦できる力を育てる。
- ④ 特別支援教育
  - ・子どもに関わる教員・保護者・地域と特別支援教育の意義を共通理解し、一層の充実を図るとともに、多様性を認め、生かすことができる力を養う。

### (2) 本年度の目標

- ① 学力向上
  - ・学び進める意欲と課題意識もてる授業改善により、学習の基礎基本と課題解決能力を育てる。
- ② 魅力ある学校づくり
  - ・コミュニティ・スクールとして地域人材や自然環境を活用し、「ひと」・「もの」・「こと」に直接触れ、関わり合う「本物体験」でコミュニケーション力と探究心を育てる。
- ③ 心身の健康
  - ・自他の生命や健康への関心を高め、よりよい生活習慣や生活環境を整えようと努力や工夫をする力を育てる。
- ④ 特別支援教育
  - ・特別支援教育についての理解を深め、温かなかかわりの中で、ともに助け合う態度と自己実現に向かう意欲を育てる。

### 3 目標達成に向けての課題

#### ① 学力向上

- ・学習した後も、基礎的基本的な学習内容の定着を維持すること。
- ・読書活動等について、学校で高めた読書活動への興味・関心を家庭でも維持できるようにすること。

#### ② 魅力ある学校づくり

- ・各学年で実施している取組について、例年踏襲で実施していることが多いため、児童の実態や「七小地区グランドデザイン」を踏まえた活動内容に改善すること。

#### ③ 心身の健康

- ・体育行事に関する取組の充実の他、日々の体育授業の中において1単位時間における児童の運動量を確保すること。
- ・「自分から挨拶」、「返事」、「応答」、「礼節」等の大切さを理解し、いつでも実行できるようにすること。

#### ④ 特別支援教育

- ・保護者・児童・地域に向けて、特別支援教育について丁寧に説明をすること。

### 4 経営の具体策

#### ① 学力向上

- ・校内研究を主軸に、客観的資料による実態把握に基づいた基礎・基本の定着のための授業改善を行う。（主な取組柱 ①日々の授業改善 ②読書環境の充実）
- ・R8年度から設定する「朝学習」を活用し、反復学習による定着を図る。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体化の理解を深め、実施可能な教科等（単元）から取り組む。

#### ② 魅力ある学校づくり

- ・「七小地区グランドデザイン」に向かって、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を意識して児童を育成できるよう、学校やCS、学校応援団の取組を定期的に発信する。
- ・一斉公開授業の他、GTによる授業や体験活動など、該当学年の保護者に公開することで保護者が児童の学習に参画できる機会を設ける。
- ・五小、三中、福生高等学校との連携を図りながら、各教科等との関連を明確にした「本物体験」を計画的に推進する。

#### ③ 心身の健康

- ・挨拶、返事、応答、礼節など、人とつながる基本的なコミュニケーションスキルについて全学級、全校で継続的に指導を行う。特に、日々の学習規律の一環として指導を行う。
- ・体育の授業では運動量を確保した授業の実施や運動に関する学校行事を充実させる。
- ・令和8年度から生活時程を整え、水曜日（特別時程）以外は各時間の始業や終業時間を揃え、毎日同じリズムで学校生活を送ることで心身の安定を図る。

#### ④ 特別支援教育

- ・教職員が特別支援教育について正しい知識理解と実践力を身に付け、個々の児童に合ったアプローチや支援をコーディネートする力を育成する。
- ・児童・保護者・教職員が多様性を認め合い、互いに支え合ったり助け合ったりすることで、自己有用感を感じることでできる関係性を構築する。
- ・保護者・地域・児童に向けた説明の仕方を工夫し、特別支援教育への正しい理解と協力が得られるようにする。（学校HPに、ことばの教室やかわせみ教室での取組様子が分かるような内容を掲載する。）

#### ⑤ その他

- ・業務遂行スキル、授業づくりスキル、マネジメントスキル等の向上を図る。（計画的に仕事を進める意識の向上や不十分な内容は改善し、非効率な方法は効率良く行う方法を検討する。スキル向上後に効率的に仕事に取り組めるようにする。）
- ・集中して仕事ができる環境を整備するため、教職員への仕事の振り方（時間、期間、方法等）を工夫する。また、集中して仕事ができるブースを職員室と校長室の間に設ける。
- ・毎月1日程度「定時退勤日」を設定するとともに、出張後の直帰や時間休の取得ができるよう、計画的に仕事を進める。

### 5 年度末のチェックポイント

- ▶ 教員、児童、保護者、地域関係者による学校評価アンケート（各項目の数値）90%以上
- ▶ 保護者会等への参加者数、学校評価への回答数の向上（前年度比）
- ▶ 治癒勧告対応目標 100% ・教員の残業時間の減少（前年度比）